



スポーツにおける『新しい公共』

「—こどものスポーツを支えるのはだれか?—」

今、こどものスポーツを支えるのはだれなのだろうか。
また、こどものスポーツをどのように支えればよいのだろうか。



入場参加 **無料**

<お問い合わせ先>

jsss jimukyoku@gmail.com

042-329-7643

東京学芸大学松田 恵示研究室内
日本スポーツ社会学会
事務局

開催日

平成23年
3月20日(日)

受付 / 14:50 ~ 開始 / 15:00 ~ 17:30

会場

成蹊大学

(8号館 101号室)

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 (※アクセスは裏面をご参照下さい)

プログラム

公開シンポジウムテーマ

「スポーツにおける『新しい公共』
—こどものスポーツを支えるのはだれか?—」

演者

- 高橋豪仁
奈良教育大学教授・NPO法人「バルシューレ ジャパン」理事長
- 松田恵示
東京学芸大学教授、文部科学省生涯学習調査官、
NPO法人「東京学芸大こども未来研究所」理事長
- 森川貞夫
日本体育大学名誉教授、「市民スポーツ&文化研究所」代表、
NPO法人「あす・ねっと」理事長
- 当日参加して下さるフロアーのすべてのみなさん
市民、学生、研究者、行政関係者、メディア関係者等

共催

- 平成20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業」選定取組
6大学連携教育支援人材育成事業
(東京学芸大学・奈良教育大学・鳴門教育大学・東京成徳大学・白梅学園大学・中国学園大学)
- 日本スポーツ社会学会

シンポジウム趣旨

今、こどものスポーツを支えるのはだれなのだろうか。また、こどものスポーツをどのように支えればよいのだろうか。あるいは、こどものスポーツを支えるためには、だれがお金を負担すべきなのだろうか。いや、そもそもこどものスポーツを支える必要があるのだろうか。

シンポジウムは、論点を対立する研究者の意見としてまず登壇者がぶつけ合う中で提示し、それをきっかけに、現場実践者や、他の研究者、さらには行政関係者、学校関係者、マスコミ関係者、市民等が議論し、意見を交流させ交歓させる参加型のものであります。そのためにも、ぜひできるだけ多くの子どものスポーツに関わる様々な立場の方にご参加いただき、一言、ご意見をいただきたいと願っています。

政策的には、「新しい公共」と呼ばれる、国民の共助を押し進めようとする一連の動きがあります。これは文部科学省から打ち出された「スポーツ立国戦略」を支える視点です。近々、こうした流れの中で、「スポーツ基本法」の制定も目指されています。「地域スポーツの振興」を柱の一つに掲げ、スポーツ少年団や NPO による取り組みなどを支援し、底辺からスポーツ振興を図る体制を整えようとするものです。こうした政治の動きは、市民や民間との連動をうまく生み出すでしょうか。現場では、こどものスポーツに対する共助への共感がどのような形となって存在しているのでしょうか。この際、潜在的な可能性を引き出し、子どものスポーツをめぐる社会参加を生み出すには、研究と実践の、官と民の、学校と地域の、そして大人と子どもの様々な「バトルトーク」が必要ではないでしょうか。シンポジウム会場が、多くの人で埋まり、活発な議論を通して、子どものスポーツにおける「公共」のあり方を考える契機になれば幸いです。多くの参加者と有意義な時間をともに創りだし共有できることを願っています。

会場アクセス



キャンパスマップ

成蹊大学 8号館 101号室

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

【電車】JR中央線・総武線・京王井の頭線、吉祥寺駅より徒歩約15分。

【バス】吉祥寺駅 北口バスのりば1・2番より関東バスで約5分「成蹊学園前」下車